



福祉作文に220作品

「思いやりの心」が浸透



社会福祉法人むつ市社会福祉協議会（長濱操会長）主催の第44回むつ市福祉作文コンクールの表彰式が2月23日下北文化会館で行われ、小中学生から出品された220作品のうち優秀作品22点を表彰した。

同コンクールは、少子高齢化の急速な進行に伴い、核家族化の進展、女性の社会進出の増加などを背景として、児童や家庭を取り巻く社会環境が大きく変化している中で、時代を担う子供達が福祉の心をもつことは、とても大切なことであると思われることから、福祉作文を通して人間性豊かな子供達の成長を期待している。

作文内容として、高齢者、障害者、家族及びボランティア活動等「思いやり、いたわり合い」に

ついでのものとしている。今回の応募数は小学校10校で42点、中学校6校で178点となっている。表彰授与のあと、最優秀賞受賞者の五名が自作の作文を朗読した。

入賞者は次の通り

最優秀賞金子藍（一田小）

①「ボランティアって、たのしいよ」柏崎瑞仁

（大湊中①）「高齢者と接して感じたこと」二本

柳萌（同②）「共に生きる」

坪葉摘（関根中①）「祖母との思い出」濱中真央

（近川中②）「お年寄りから学んだ事」

優秀賞川西笑未（苦生小）

①「大せつなトイレ」

祐川花菜（脇野沢小⑤）お

ばあちゃんのために出来ること」白取一登（大

湊中①）「笑顔の力」武

田亜幸（むつ中①）「平等な世界へ」野邊地璃々

（関根中①）「たった一言

で」石橋みゆり（大畑

中①）「音でつなぐ心」

佳作林琉那（二田小②）

大林優沙（苦生小④）長谷

川和輝（三田小⑤）駄賃

場穂南（関根小⑥）武田晴

海（大平中①）藤原紬（同

同）木村結衣（同②）下山

詩織（同同）片山瑞貴（大

畑中②）立花桃香（近川中①）北村しおり（脇野沢中②）